

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成24年11月9日

【四半期会計期間】 第40期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 株式会社東京デリカ

【英訳名】 TOKYO DERICA CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 木山剛史

【本店の所在の場所】 東京都葛飾区新小岩1丁目48番1号
(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行なっております。)

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 東京都葛飾区新小岩1丁目48番14号

【電話番号】 03(3654)5311

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理部長 山田陽

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第39期 第2四半期 累計期間	第40期 第2四半期 累計期間	第39期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	20,022,364	21,896,323	42,007,834
経常利益 (千円)	1,437,099	1,722,553	3,060,253
四半期(当期)純利益 (千円)	770,326	932,034	1,519,076
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	2,986,400	2,986,400	2,986,400
発行済株式総数 (株)	19,906,600	19,906,600	19,906,600
純資産額 (千円)	14,710,730	16,162,214	15,539,720
総資産額 (千円)	24,779,250	26,497,508	26,363,572
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	41.00	48.64	80.85
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	40.96	48.20	80.08
1株当たり配当額 (円)	-	-	20.00
自己資本比率 (%)	59.3	61.0	58.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,583,522	846,044	2,520,587
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	227,311	390,588	1,206,181
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	364,814	568,854	423,542
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,539,181	4,325,249	4,438,648

回次	第39期 第2四半期 会計期間	第40期 第2四半期 会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	24.70	28.95

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等は次のとおりであります。

(株式取得による会社等の買収)

当社は、平成24年9月5日開催の取締役会において、アイシン通商株式会社及びロジェールジャパン株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

なお、平成24年10月1日付で株式を取得しております。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期財務諸表 注記事項(重要な後発事象)」に記載しております。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興が進みつつあり、企業収益や個人消費にも緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州の債務危機や長引く円高、電力供給不足への懸念等に加え、将来の消費税増税に対する不安感の高まりもあり、景気の先行きは依然として不透明なまま推移しました。

このような状況下で、当社は積極的に22店舗の新規出店を行なうとともに、商品構成の見直しに努めた結果、既存店売上高が前年同期比104.1%となり、売上高は前年同期比9.4%の増収となりました。品種別に見ますと、財布・雑貨類のうち、財布が前年同期比27.7%、メンズ・トラベルバッグが同11.4%と好調に推移し、また、インポートバッグが同5.1%、ハンドバッグが同4.7%、カジュアルバッグが同4.3%のそれぞれ増収となりました。一方、財布・雑貨類のうち、雑貨は同3.4%の減収となりました。

また、売上高の伸長に加えて、商品粗利益率が前年同期比0.5ポイント向上し、販売費及び一般管理費率が同0.1ポイント低下したため、営業利益、経常利益につきましては、前年同期に対してそれぞれ18.3%、19.9%の大幅な増益となりました。四半期純利益につきましても、経常利益の増益に伴い21.0%の増益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は21,896百万円(前年同期比9.4%増)、営業利益は1,706百万円(前年同期比18.3%増)、経常利益は1,722百万円(前年同期比19.9%増)、四半期純利益は932百万円(前年同期比21.0%増)となりました。

(2) 財政状態の分析

(総資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は26,497百万円(前事業年度末比133百万円の増加)(前事業年度末比0.5%増)となりました。これは主として、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等があったものの、商品及び製品の増加等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は10,335百万円(前事業年度末比488百万円の減少)(前事業年度末比4.5%減)となりました。これは主として、未払法人税等、リース債務の減少等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は16,162百万円(前事業年度末比622百万円の増加)(前事業年度末比4.0%増)となりました。これは主として、配当金の支払による減少があったものの、四半期純利益の計上によるものであります。

(自己資本比率)

当第2四半期会計期間末における自己資本比率は61.0%(前事業年度末比2.1ポイント増)となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、4,325百万円(前事業年度末比113百万円の減少)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、846百万円のプラス(前年同期は1,583百万円のプラス、前年同期比737百万円の減少)となりました。これは主として、税引前四半期純利益の計上や売上債権の減少等があったものの、仕入債務の減少や法人税等の支払額の増加等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、390百万円のマイナス(前年同期は227百万円のマイナス、前年同期比163百万円の減少)となりました。これは主として、新規出店及び改装に伴う設備投資の増加等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、568百万円のマイナス(前年同期は364百万円のマイナス、前年同期比204百万円の減少)となりました。これは主として、配当金の支払額の増加等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期累計期間において、従業員数の著しい増減はありません。

(7) 販売及び仕入の実績

当第2四半期累計期間において、販売及び仕入実績の著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前事業年度末における計画の著しい変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	31,200,000
計	31,200,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	19,906,600	19,906,600	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株で あります。
計	19,906,600	19,906,600	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		19,906		2,986,400		4,176,790

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)エムケー興産	東京都千代田区三番町9-6	7,159	35.96
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	東京都中央区晴海1-8-11	932	4.68
(株)三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	698	3.50
日本マスタートラスト信託銀行(株)	東京都港区浜松町2-11-3	692	3.47
木山茂年	東京都千代田区三番町	570	2.86
木山昭栄	東京都千代田区三番町	553	2.78
東京デリカ取引先持株会	東京都葛飾区新小岩1-48-14	531	2.66
東京デリカ従業員持株会	東京都葛飾区新小岩1-48-14	502	2.52
木山剛史	東京都千代田区四番町	367	1.84
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ エージェント ビーエヌワイエム エイエス イーエイ ダッチ ペンション オムニバス 140016 (常任代理人(株)みずほコーポレート 銀行決済営業部)	東京都中央区月島4丁目16-13	346	1.73
計	-	12,353	62.05

- (注) 1 信託銀行等の信託業務に係る株式数については、当社として当第2四半期会計期間末時点における
実質所有状況の確認ができませんので、株主名簿上の名義での保有株式数を記載しております。
2 上記のほか、当社所有の自己株式686千株(3.44%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 686,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,218,600	192,186	-
単元未満株式	普通株式 1,500	-	-
発行済株式総数	19,906,600	-	-
総株主の議決権	-	192,186	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が4,000株(議決権40個)含まれております。

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株東京デリカ	東京都葛飾区新小岩 1-48-1	686,500	-	686,500	3.44
計	-	686,500	-	686,500	3.44

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

3 四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,466,348	4,352,949
受取手形及び売掛金	3,236,435	2,882,157
商品及び製品	7,702,989	8,228,267
原材料及び貯蔵品	20,297	14,943
繰延税金資産	246,849	235,625
その他	191,257	98,867
貸倒引当金	12,700	5,700
流動資産合計	15,851,479	15,807,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,561,484	1,553,582
土地	954,152	954,152
リース資産(純額)	691,805	562,046
その他(純額)	349,585	521,458
有形固定資産合計	3,557,027	3,591,239
無形固定資産	42,854	35,796
投資その他の資産		
投資有価証券	32,893	32,185
敷金及び保証金	6,038,471	6,153,325
繰延税金資産	488,207	479,884
その他	374,340	419,666
貸倒引当金	21,702	21,702
投資その他の資産合計	6,912,210	7,063,360
固定資産合計	10,512,092	10,690,397
資産合計	26,363,572	26,497,508
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,922,035	3,849,548
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
リース債務	316,886	286,618
未払法人税等	989,954	771,993
賞与引当金	251,750	315,056
役員賞与引当金	25,200	15,600
株主優待引当金	18,000	-
その他	1,569,851	1,549,045
流動負債合計	7,193,677	6,887,861

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
固定負債		
社債	1,600,000	1,600,000
リース債務	511,935	377,771
退職給付引当金	494,023	515,976
役員退職慰労引当金	128,741	127,981
資産除去債務	509,284	525,445
その他	386,189	300,258
固定負債合計	3,630,173	3,447,432
負債合計		
	10,823,851	10,335,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,986,400	2,986,400
資本剰余金	4,182,654	4,179,656
利益剰余金	8,699,112	9,251,025
自己株式	354,510	270,234
株主資本合計	15,513,656	16,146,847
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,281	5,827
評価・換算差額等合計	6,281	5,827
新株予約権	19,783	9,539
純資産合計	15,539,720	16,162,214
負債純資産合計	26,363,572	26,497,508

(2)【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高		
商品売上高	19,984,958	21,858,578
不動産賃貸収入	37,405	37,745
売上高合計	20,022,364	21,896,323
売上原価		
商品期首たな卸高	7,291,180	7,702,989
当期商品仕入高	11,039,931	12,295,984
合計	18,331,111	19,998,974
他勘定振替高	-	210
商品期末たな卸高	7,471,293	8,228,267
商品売上原価	10,859,817	11,770,496
不動産賃貸原価	9,835	9,239
売上原価合計	10,869,653	11,779,736
売上総利益	9,152,711	10,116,586
販売費及び一般管理費		
支払手数料	412,331	481,746
広告宣伝費	326,107	367,986
運賃及び荷造費	291,703	298,723
給料	2,323,332	2,479,544
賞与引当金繰入額	242,569	315,056
退職給付費用	61,146	71,059
役員退職慰労引当金繰入額	4,040	5,240
役員賞与引当金繰入額	12,000	15,600
賃借料	2,549,939	2,790,289
減価償却費	346,260	363,092
その他	1,141,239	1,221,752
販売費及び一般管理費合計	7,710,668	8,410,091
営業利益	1,442,042	1,706,495
営業外収益		
受取利息	417	493
受取配当金	1,424	447
為替差益	8,800	4,873
貸倒引当金戻入額	2,603	7,000
祝金受取額	-	5,520
受取手数料	2,488	2,728
受取保険金	-	9,153
その他	10,169	8,023
営業外収益合計	25,902	38,238

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業外費用		
支払利息	15,147	13,936
社債利息	4,103	4,245
支払保証料	3,229	3,489
消費税差額	8,047	-
その他	316	509
営業外費用合計	30,845	22,180
経常利益	1,437,099	1,722,553
特別利益		
受取補償金	5,826	-
新株予約権戻入益	49,371	187
特別利益合計	55,197	187
特別損失		
固定資産除却損	32,243	17,497
減損損失	19,187	7,183
店舗閉鎖損失	12,752	9,562
その他	-	3,463
特別損失合計	64,182	37,706
税引前四半期純利益	1,428,114	1,685,035
法人税、住民税及び事業税	632,100	733,200
法人税等調整額	25,687	19,801
法人税等合計	657,787	753,001
四半期純利益	770,326	932,034

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,428,114	1,685,035
減価償却費	349,381	365,746
減損損失	19,187	7,183
貸倒引当金の増減額（は減少）	12,537	7,000
受取利息及び受取配当金	1,841	940
支払利息及び社債利息	19,251	18,182
売上債権の増減額（は増加）	208,771	354,277
たな卸資産の増減額（は増加）	176,867	519,923
仕入債務の増減額（は減少）	569,322	72,486
賞与引当金の増減額（は減少）	18,156	63,306
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	4,040	760
役員賞与引当金の増減額（は減少）	9,000	9,600
退職給付引当金の増減額（は減少）	23,909	21,953
固定資産除却損	32,243	17,497
未払消費税等の増減額（は減少）	4,190	1,476
その他	117,353	107,115
小計	2,176,132	1,813,879
利息及び配当金の受取額	1,843	940
利息の支払額	19,254	18,186
法人税等の支払額	575,199	950,589
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,583,522	846,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	218,712	372,228
有形固定資産の除却による支出	8,821	10,360
その他	222	8,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	227,311	390,588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	39
配当金の支払額	241,326	377,256
リース債務の返済による支出	178,112	164,431
ストックオプションの行使による収入	-	71,262
割賦未払金の増加額	156,162	-
割賦未払金の減少額	101,539	98,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	364,814	568,854
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	991,395	113,399
現金及び現金同等物の期首残高	3,547,785	4,438,648
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,539,181	4,325,249

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産(リース資産及び不動産賃貸事業用建物(一部本社使用)を除く)については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。	
これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ9,635千円増加しております。	

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

特別損失のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
固定資産除却損の内訳		
建物及び構築物	20,976千円	13,511千円
リース資産	5,568千円	-千円
有形固定資産「その他」	5,698千円	3,986千円
計	32,243千円	17,497千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	4,566,881千円	4,352,949千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	27,700千円	27,700千円
現金及び現金同等物	4,539,181千円	4,325,249千円

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	244,232	13.00	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	380,121	20.00	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 前第2四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

当社の報告セグメントは、単一セグメントであるため、セグメント情報について記載しておりません。

2 当第2四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

当社の報告セグメントは、単一セグメントであるため、セグメント情報について記載しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	41円00銭	48円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	770,326	932,034
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	770,326	932,034
普通株式の期中平均株式数(株)	18,787,089	19,160,258
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	40円96銭	48円20銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	19,437	178,232
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	平成18年6月28日定時株主総会決議によるストックオプション 上記の新株予約権は平成23年6月30日をもって権利行使期間満了により失効しております。	

(重要な後発事象)

(株式取得による会社等の買収)

- 1 当社は、平成24年9月5日開催の取締役会において、アイシン通商株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。
なお、平成24年10月1日付で株式を取得しております。

(1) 株式取得の目的

アイシン通商株式会社は、メンズバッグ・トラベルバッグの企画・製造を行っており、アイシン通商株式会社を当社の子会社とすることで、当社グループとしてメンズバッグ・トラベルバッグの製造機能を有することとなり、また、それらの企画力・開発力を大幅に強化することとなります。

(2) 株式取得の相手の名称

アイシン通商株式会社の全株主

(3) 株式取得対象会社の概要

商号 アイシン通商株式会社
主な事業内容 メンズバッグ・トラベルバッグの企画・製造
資本金 40,000千円
設立年月日 昭和41年10月19日

(4) 株式取得の時期

平成24年10月1日

(5) 取得株式数及び取得後の持分比率

取得株式数 4,000株

取得後の持分比率 100%

- 2 当社は、平成24年9月5日開催の取締役会において、ロジェールジャパン株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。
なお、平成24年10月1日付で株式を取得しております。

(1) 株式取得の目的

ロジェールジャパン株式会社は、アイシン通商株式会社からメンズバッグ・トラベルバッグを仕入れ、主として家電量販店、ホームセンター等の大型量販店に卸売を行っており、ロジェールジャパン株式会社を当社の子会社とすることで、当社グループとしてメンズバッグ・トラベルバッグの卸売の販路を獲得することとなります。

(2) 株式取得の相手の名称

ロジェールジャパン株式会社の全株主

(3) 株式取得対象会社の概要

商号	ロジェールジャパン株式会社
主な事業内容	メンズバッグ・トラベルバッグの卸売
資本金	40,000千円
設立年月日	平成3年1月10日

(4) 株式取得の時期

平成24年10月1日

(5) 取得株式数及び取得後の持分比率

取得株式数	800株
取得後の持分比率	100%

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

株式会社 東京デリカ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 斎藤 昇 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 佐藤 義仁 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社東京デリカの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第40期事業年度の第2四半期会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社東京デリカの平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成24年9月5日開催の取締役会において、アイシン通商株式会社及びロジェールジャパン株式会社の株式を取得し、子会社化することを決議し、平成24年10月1日付けにて、当該株式の取得を行った。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

-
- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2．四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。